

ITOSUGI



いとすぎの丘



オープンキャンパス



いとすぎ祭

オープンキャンパス 2015

Pick
Up



7月18日と8月21日、毎年恒例のオープンキャンパスが開催されました。両日とも多くの方々にご来場頂き、模擬授業や体験デモンストレーション、本学在学生との学生生活に関する個別相談などのコーナーへ参加して下さいました。



体育祭

■ 学生生活

いとすぎ祭・体育祭
ナイチンゲール記章授与式
タイ・ミャンマー国際保健
医療支援実習
新入生宿泊研修
イギリス語学研修
クラブ紹介
RCT☆LINK

■ 大学の活動

オープンキャンパス2015
研究の窓
後援会の活動
Academic Library

■ Information

いとすぎ祭

考え行動すること

第12回いとすぎ実行委員長 横江 捺妃

第12回いとすぎ祭は、「明日への一步～今私たちにできること～」をテーマに行われました。恒例企画に加え、こうのとりのゆりかご（赤ちゃんポスト）の設立に尽力した蓮田太二氏によるご講演や、大人気のお笑い芸人ゴー☆ジャスさんやラブレターズさんによる



お笑いライブの開催、赤十字ならではの企画やテーマに沿った新企画など充実し、多くの学生や来場者の方に参加していただくことができました。

私自身どうすればいいのか迷い、立ち止まったり、過ぎていく時の流れの速さに焦りを感じていたりときもありました。そんな時私を支えてくれたのは、周りの仲間でした。周りの支えがあったからこそ、またテーマ通り一人ひとりが必死になり今できることを考えて行動できたからこそ、いとすぎ祭が成功したのだと思います。そしていとすぎ祭を終えた後の多くの実行委員のあの涙につながったのだと・・・。

来年度以降のいとすぎ祭においても、仲間の大切さを感じ、仲間を思い合えるいとすぎ実行委員であること、またその一人ひとりのパワーにより、いとすぎ祭がよりよいものになることを期待しています。

体育祭

平成27年度体育祭

平成27年度 体育祭委員会委員長 植田 叶

体育祭は毎年多くの学生と教職員の方々に参加して頂いている行事です。学年を超えた交流を目的とし、毎年様々な企画を体育祭委員会が考え運営しています。今年の体育祭は5月21日に開催され、学生241人、教職員9人の計250人の方に参加して頂くことができました。今年の体育祭では参加者を学年関係なく12グループに分け、バレーボール、ドッジボール、ドッジボールを男性のみで行う男子戦、ぐるぐるパットの4競技をグループメンバーで力を合わせて競い合いました。教職員の方々にも学生とともに競技に参加して頂くことができました。様々なハプニングはあったものの参加者の方々には体育祭を楽しんで貰い、また学年を超えた交流という体育祭開催の目的も果たすことができたのではないかと思います。反省点は多々ありますが、これらを踏まえ、来年の体育祭をより良いものにしていきたいと思っています。



ナイチンゲール記章授与式

ナイチンゲール記章授与式に参加して

4年 鈴木 穂乃

去る8月5日、フローレンス・ナイチンゲール記章授与式に出席させていただきました。式典には皇族の方々、また各支部関係者の方々が出席され、看護学生によるキャンドルサービスなど、厳かな雰囲気の中、日本赤十字社名誉総裁である皇后陛下御手ずから記章が授与されました。受章されたお二方は、公衆衛生や看護教育の分野で顕著な実績を残し、創造的・先駆的貢献を果たした看護師でいらっしゃいます。式典後には、受章者による講演会が行われ、看護師としてどのような信念を持ち、長い間携わってきたかを拝聴することができました。また、講演会後には日本赤十字社本社の見学をし、アンリー・デュナンや博愛社など赤十字の歴史について、実際の展示物を見て理解を深めるとともに、救援物資の貯蔵庫やいとすぎの丘の絵画などを見て、赤十字のあり方について考える良い機会となりました。



受章されたお二方はいずれもご高齢で、それだけ長い間看護師として経験を積んでこられたことが分かります。半年後には私たちも、赤十字の精神を学んだ看護師として働いていくことになります。自分の中で揺るがない看護観を持った看護師になれるよう、まずは国家試験の勉強を頑張っていきたいと思います。

タイ・ミャンマー国際保健医療支援実習

タイ・ミャンマー国際保健医療支援実習を通して

3年 岩間 志帆子

8月23日～31日の9日間タイ・ミャンマーの赤十字社、病院、大学、JICAを訪問し日本の赤十字社や病院、大学との違いについて見学させていただきました。



ました。赤十字の学生として、途上国ではどのような環境で医療支援や国際保健が行われているのか知りたいと思い、合計14名の学生で実習に参加しました。

より学習を深めるため、事前にタイ・ミャンマーの医療や保健について、またその国の文化や生活についても学習をし、その国のマナーやルールに沿って活動することができました。9日間で多くの事を知り、学ぶことができたと思います。

私は特にタイ・ミャンマーの病院の環境や、看護学生との交流、JICAについて理解を深めるというのが目標でした。JICAでは、今後の課題や問題点などを知り、国際保健医療支援の必要性を学ぶことができました。この実習で自分なりに様々な知識を吸収し、学習が深められたと思います。

新入生合宿研修

新人合宿研修を通して

1年 荒井 依子

4月16日、17日に新人合宿研修が行われました。1日目は明治村に行き、色々な建造物を見学しました。その中でも日赤中央病院は看護学生としてとても興味深いものでした。ナイチンゲールが『看護覚え書き』の中で重要と記していた換気のために床を高くしたり、換気塔を設置したりといった工夫がされていました。



他にも効率よく日光を取り入れるための工夫などもされており、これらのことが看護においてどれだけ必要であるかということを再確認することが出来ました。

2日目は“理想の看護師になるためには”というテーマをもとにグループワークを行いました。私たちのグループでは理想の看護師になるためには友達や先生・先輩方とのコミュニケーションやしっかりとした知識と技術を身につけること、世界の医療について関心を深めることなどの意見が出ました。これらより、毎日を大切にすることが夢へとつながるという結論に至りました。グループ内の話し合いや他グループの発表を聞き、自分の中にはなかった考え方や思いを知り、たくさんのことを吸収することが出来ました。

2日間を通して看護学生としての意識を高めることが出来ました。話し合いでは自分の考えをまとめてみんなに伝えることが難しく、そのためにも自分の意見をしっかりと持つことが大切だとわかりました。しかし、それと同時に、柔軟な心でみんなの意見を受け入れることの重要性もわかりました。

イギリス語学研修

異国の地でコミュニケーションを学んで

2年 森下 直紀

私達はイギリスのプリマスという都市で約3週間、語学研修に参加させていただきました。ホームステイということだったので心配な面は多かったものの、いざ行ってみるとなんとかコミュニケーションをとることができ、最後にはホストファミリーとの別れがつかくなるほど親密になっていました。

語学研修先であったMayflower Collegeでは、ゲームを交えながら文法やリスニングを学ぶことができました。他の国から勉強に來ていたクラスメイトもいたので、学校でもたくさんコミュニケーションをとる機会がありました。

また、午後からは現地の病院などに訪問してお話を聞いたり、施設内を案内していただいたりすることが出来ました。どこの施設でお話を聞いても新しい発見に驚かされるばかりでした。このように現地の人たちとコミュニケーションをとる機会が多くありました。不慣れながらもなんとか伝えようとすると、聞き手もそれを理解しようとしてくれました。ここで、私はう

まく言えなくても、伝える努力をすることの大切さを学びました。

今回の研修は、私の将来にとって重要な経験になりました。これからの日本は否が応でも英語でのコミュニケーションが重要になってきます。それに対応するためにも、机上で英語を学ぶだけでなく、実際にその中に身をおくこの研修はとてもいい経験になると思います。

また、今回の研修で学んだ、臆することなく伝える努力をすることの大切さを忘れずに、これからの生活に生かして生きたいと思います。



クラブ紹介

父と子の日

3年 田中 夕紀子

私たち父と子の日サークルは、地域ケアの一環として子育て支援を行うボランティアサークルです。毎月第四土曜日に地域のお父さんと子どもたちを大学に招き、一緒に遊ぶことによって親子の交流を図ると同時に、育児で忙しいお母さんに育児休暇をつくることを



目的として活動しています。

ハロウィンパーティー、クリスマス会、餅つきなどの季節に合ったイベントや、運動会やクッキー作りなど親子で楽しめる行事などを企画し、親子と共に学生も楽しみながら活動を行っています。また、2年前から学祭への模擬店の出店も行っています。今年はお父さんと子どもたちに手伝ってもらいながら唐揚げを販売したところ、大盛況でした。

父と子の日の活動は子どもと遊ぶだけではありません。子どもたちの年齢や発達段階に適した遊びを提供したり、子どもたちが安全に遊ぶために環境を整えたりするなど、看護学生としての知識を生かし、実践する場にもなっています。

仕事で忙しいお父さんが子どもと触れ合う時間を持てるように、育児に疲れたお母さんが休める日を確保できるように、そして、子どもたちが明るい家庭環境で健やかに成長できるように、これからも父と子の日の活動を続けていきたいと思っています。

RCT☆LINK

自分の視野を広げる

2年 林 沙希子

みなさんこんにちは。2年生の林沙希子です。2年生の前期が終わり、入学してから1年半があっという間に経ちました。学校生活では1年時よりも看護の専門的な各分野の学習が行われ、3年後には私も看護師になるのだと気が引き締まる思いで学習に取り組んでいます。学校生活の中で最近では昨年参加しているDMAC (Disaster Management Assistance Circle) の活動に力を入れています。今年度から組織づくりが確立され、各部門に分かれての運営を行っています。私は昨年度、このサークルの1つの企画として東北ボランティアに参加しました。石巻のボランティア団体の方と協力をして仮設住宅を訪れ、一軒一軒に「仮設きずな新聞」を配るという活動です。その中で被災者の方とお話をしたりしてコミュニケーションを図り、一人ひとり個人差はありますが、皆さんが前向きに生活している姿に私たちが励まされる場面もたくさんありました。今回は去年の経験を活かし東北ボランティアのリーダーをやっています。計画から苦戦することがた

くさんありましたが、多くの先輩や仲間の助けもあり、9月中旬に合計25人で東北地方のボランティア活動に参加することができました。

もうすぐ夏休みも終わり後期も始まるので、勉強やサークル活動はもちろん時間がある今のうちに、いろんな経験をして視野を広げていきたいと思っています。

Next RCT☆LINK

⇒1年 徳武 憂希 さん



オープンキャンパス2015

オープンキャンパスに参加して

2年 小出 淳貴

私は去年に続き、今年も7月と8月のオープンキャンパスに参加させていただきました。今回もキャンパスツアーを担当させていただいたので、看護学部とはどのようなものなのか、また、本学の特徴などを高校生や保護者の方によりわかり易く、そしてより興味を持っていただけるよう心がけながら学内を案内しました。

7月にも参加し、再度私に質問したいと思い8月のオープンキャンパスにも訪れたと話してくれた高校生や、「初めは他大学が第一志望でしたが、詳しい話を聞いてこの大学が第一志望になりました。」と話してくれる高校生もあり、高校生の皆さんにとって、実際の学生から得る情報がとても大きな影響を与えるのだと実感しました。

今回のオープンキャンパスによって、一人でも多くの高校生が本学を志望、もしくは興味を持ってくれればと感じています。



来年も是非、私の大好きな本学の魅力を伝えられるよう、オープンキャンパスに参加したいと思います。

研究の窓

患者さんとの出会いを大切に

基礎看護学領域 山田 聡子

基礎看護学領域の教員として早いもので約20年が経過しました。学生が看護とは何かを探求し、看護援助を提供するための思考過程や技術を修得できるよう支援する日々を過ごしながら、臨床現場で出会った患者さんやご家族からいただいた経験が自分自身の基盤になっていることを改めて実感しています。

学生たちにとって患者さんとの初めての出会いは基礎看護学実習です。臨床現場で学ぶことに不安を感じながらも、受け持たせていただく患者さんの役に立ちたいという優しい想いと意気込みをもって学生たちは実習に臨みます。実習が開始すると学生たちは臨床現場のスピード感や雰囲気や圧倒され、未経験の困難に果敢に挑んでいらっしゃる患者さんの現実を目の当たりにします。実習前の講義や演習を通じた想定では追いつかない臨場感に学生の緊張は高まり、学生自身の至らなさに落ち込むことや涙することもあります。しかし、毎日誠実に患者さんに関わり続けるうちに、学生なりの最善の看護を模索し始めます。学生が出会っ

た患者さんとの相互作用から大きく成長する瞬間です。

今年もまた「基礎看護学実習」の時期が近づいてきました。学生が患者さんとの出会いを大切にできるように、そして、患者さんからいただく経験を大切にできるよう教員として精一杯の支援をしたいと思います。



後援会の活動

平成27年度後援会 会長挨拶

後援会 会長 鈴木 秀樹

後援会会長の鈴木です。平素は後援会活動にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

2011年の震災から4年が経ち、ようやく落ち着きを取り戻しつつあった東日本に、追い打ちを掛けるかのような9月の豪雨。さらには、日本列島で瀬発する火山の噴火や地震、台風の上陸、それに伴う災害が後を絶たない昨今ですが、その度に救護支援活動の重要性を認識させられます。

日本赤十字豊田看護大学では、人間のいのちと健康、尊厳を守る活動を使命とする赤十字の理念を学び、将来、看護や救援の最前線での活動に従事できる人材の育成を目指しています。一昨年度は開学10周年記念行事も執り行われ、日本赤十字豊田看護大学も新たな歴史を作るべく次の節目に向けてあらたな一歩を歩み始めています。

そのなかで後援会は、学生の成長、大学の発展に貢献できるよう取り組んでおり、例年自治会支援として「いとすぎ祭」への支援と、後援会事業として演習機

材等の購入の助成を行っております。本年度の助成として、「新生児バイタルサインモデル」を最新モデルへ更新しました。

さて私事ですが、後援会役員として6年が過ぎました。長女が卒業して間もなく2年が経ち、来年3月に次女が無事卒業すれば、私の長かった役員としての大学との関わりも終わりを迎えることとなります。これからは優秀な人材が多数ここから羽ばたいていくことを願いつつ、会の運営にあたりお力添えいただいた教職員のみなさま、後援会のみなさまに、この場を借りてお礼申し上げます。長い間ありがとうございました。



平成27年度後援会役員一同

Academic Library

れるられる

図書館司書 中尾 明子

「生む・生まれる」「支える・支えられる」など、六つの動詞の能動と受動を往き来するエッセイ集である。エッセイとはいえ、ダウン症と出生前診断、災害PTSDと心のケア、ポスドクと自殺など、主題は決して軽くはない。自分の立ち位置「こちら側」と自分ではない人（当事者）の立ち位置「あちら側」。自分は「こちら側」に生きていて、正気で強いと考えているが、こちらとあちらの境目では何が違うのか。くり返し、自ら「問う」ことに、著者に「問われる」ことに



最相葉月 (2015) . れるられる. 岩波書店 (シリーズここで生きる)

なる。

第5章「聞く・聞かれる」では、悪性腫瘍のため発声器官と舌をすべて切除し、声も臭覚も味覚も失った著者の父とリエゾン精神看護専門看護師について、著者の無響室での体験などと共に語られる。術後は声を失う父のために、著者は五十音を父の声でデジタル録音しておき、オーダーメイドの音声キーボードを作ることを見つくる。市販されている障害者用キーボードの声は、人間味の欠片もないものに思われたからである。その録音したMDを父が術後に失くしたエピソードが伏線として置かれる。

リエゾン精神看護専門看護師については『精神科以外の患者の精神的ケアを行う看護師のうち、医療者と患者、その家族、また看護師間をリエゾンする（つなぐ）看護師』（p.119）と紹介されている。また『終末期に必要なコミュニケーションをケアの技術として捉え、医療者や家族の関係を調整する』とも（p.120）。

父の死後、その看護師から臨終に立ち会えなかったお詫びと哀悼が綴られた手紙を受け取ったとき、彼女の存在が著者にとってどれだけ心強いものだったかを理解し、声帯切除前の声を録音したMDを失くしたと言った父の思いにも行きあたる。無響室での体験もこのエッセイを深くしている。それは、読んでのお楽しみ。

Information

日本赤十字豊田看護大学看護学部看護学科(平成28年度)入学試験日程

試験の種類	募集定員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	選 抜 方 法 (科目等、配点) ※3
一般入学試験	50名	平成27年 12月11日(金)～ 平成28年 1月22日(金)必着	平成28年 1月30日(土)	平成28年 2月8日(月)	平成28年 2月9日(火)～ 2月16日(火)まで	【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) (配点:100点) コミュニケーション英語I・II (配点:100点) 英語表現I (配点:100点) 【選択科目】※5 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A【数学A】の出題範囲は「場合の数と確率」「図形の性質」より出題 ② 化学基礎・化学 ③ 生物基礎・生物
大学入試センター試験 注:それぞれの入試日程につきましては出願の際に募集要項で確認して下さいますようお願い致します。	5名	平成28年 1月 4日(月)～ 平成28年 1月15日(金)必着	平成28年 1月16日・17日 本学での個別試験は実施しません。	平成28年 2月8日(月)	平成28年 2月9日(火)～ 2月16日(火)まで	学力検査 【必須科目】 国語総合(近代以降の文章) (配点:100点) 英 語 (英語リスニングを除く) (配点:200点満点を100点満点に換算) 数学I・数学A (配点:100点) 【選択科目】 理 科 生物基礎・化学基礎の2科目 又は 生物、化学から1科目を選択

平成27年度公開講座(下半期)

領域	日 時	講 座 名	内 容	定員	備考
母性看護学	平成28年2月6日(土) 13:30～16:45	シリーズ 不妊を学ぶ ～妊娠力を高める 食事について考えよう～	「妊娠力」を高める食事についての講義を行い、その後はアロママッサージ、不妊を経験された方々のおはなし会を予定しております。	40名	本学
小児看護学	平成28年3月5日(土) 10:00～11:30	子どもの心を育む 遊びの実際	遊びは、子どもの体とこころの成長に必要な不可欠なものです。親子一緒に思いきり遊び、遊びの大切さについて考えましょう。遊んだ後の交流会では、日常的な困り事や心配事について話し合います。	30名	本学 子ども 対象年齢 :3～6歳
基礎看護学	平成28年3月7日(月) 10:00～11:30	知ろう! 防ごう! 感染症	インフルエンザやノロウイルスなど、身近な感染症の予防方法についてお伝えします。正しい手洗方法を身につけましょう。 *袖をまくることが出来る服装でご参加下さい。	20名	本学

平成26年度 消費収支計算書

平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

消費収入の部 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金	910,950,000	901,545,000	9,405,000
手数料	28,766,000	26,202,940	2,563,060
寄付金	925,000	2,177,406	△ 1,252,406
補助金	117,418,000	87,333,184	30,084,816
国庫補助金	117,378,000	87,292,000	30,086,000
地方公共団体補助金	40,000	41,184	△ 1,184
資産運用収入	14,273,000	18,175,826	△ 3,902,826
事業収入	6,400,000	5,956,300	443,700
雑収入	4,314,000	3,935,734	378,266
内部取引	1,819,000	3,366,738	△ 1,547,738
帰属収入 合計	1,084,865,000	1,048,693,128	36,171,872
基本金 組入額	△ 136,573,000	△ 100,000,000	△ 36,573,000
消費収入の部合計	948,292,000	948,693,128	△ 401,128

消費支出の部 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	差 異
人件費	603,265,000	555,539,306	47,725,694
教育研究経費	405,974,000	380,509,990	25,464,010
管理経費	45,151,000	43,011,995	2,139,005
資産処分差額	0	2,580,722	△ 2,580,722
内部取引	16,309,000	17,377,999	△ 1,068,999
予備費	0	0	0
消費支出の部	1,070,699,000	999,020,012	71,678,988
当年度消費支出超過額	122,407,000	50,326,884	
前年度繰越消費収入超過額	258,026,000	803,304,147	
基本金 取崩額	0	126,731,464	
翌年度繰越消費収入超過額	135,619,000	879,708,727	

平成26年度の財務状況は、教育環境維持向上基金創設に伴う第3号基本金への組入れ、学内ネットワーク機器の更新整備等により122,407千円の支出超過予算でしたが、施設整備については、経費節減努力により安価で更新することができたこと、さらに人件費の減少により支出超過額を72,080千円圧縮することができ、50,327千円の支出超過となりました。

編集後記

夏の猛暑から澄んだ青空に季節の移ろいを感じる今日この頃です。
御嶽山の噴火から約1年余りが経ちましたが、その後も自然災害の発生は後を絶つこともなく、市民生活を脅かしています。「平成27年9月関東・東北豪雨」は、甚大な被害をもたらしました。たわわに実った黄金の稲穂や見慣れた街並みが濁流にのまれる様相に、茫然と、ただ言葉を失くした方も多いことでしょう。被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、いとすぎの丘No22をお届けします。本号では、いとすぎ祭や国際保健医療実習、オープンキャンパス、イギリス語学研修などの様子について紹介しています。お忙しいなか、ご執筆にご協力いただいた皆様に深謝いたします。

今後も魅力あるページを作ってまいりたいと思います。大学秘話やちょっとした話題など、皆様からのご投稿をお待ちしております。

いとすぎの丘 Vol.22

発行日/2015年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <http://www.rctoyota.ac.jp/>